【総括表】

用途	消防署

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	中消防署東分署	岩滝町	現状維持	
2	北消防署保見出張所	篠原町	現状維持	
3	中消防署松平出張所	九久平町	大規模修繕	
4	南消防署	和会町	大規模修繕	
5	北消防署力石出張所	力石町	現状維持	
6	消防本部・中消防署	長興寺	大規模修繕	
7	中消防署逢妻分署	丸根町	現状維持	
8	南消防署西分署	聖心町	現状維持	
9	北消防署	四郷町	現状維持	
10	北消防署藤岡小原分署	木瀬町	大規模修繕	
11	足助消防署下山出張所	大沼町	現状維持	
12	南消防署末野原分署	鴛鴨町	現状維持	
13	足助消防署	桑田和町	現状維持	
14	足助消防署旭出張所	浅谷町	大規模修繕	
15	南消防署高岡出張所	高丘新町	現状維持	
16	足助消防署稲武出張所	稲武町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、広大な市域を有する本市において、消防活動や災害対応を担う重要な拠点であるとともに、超高齢社会に対応した救急出動のニーズも高まっていることから、施設が機能不全に陥り活動に支障をきたすことがないよう、劣化状況や点検・診断結果等を踏まえて計画的に維持保全を行っていく必要がある。それらの実施に当たってはコストの縮減や財政負担の平準化等にも配慮する。

【個別表】

1	施設名	中消防署東分署

1　施設の概要

所在地	岩滝町	延床面積	745.08 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1980	745.08	2 階 (一部 5 階)	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築４１年が経過しており、２００３年には耐震工事を実施している。アスファルト保護防水の表面磨耗が見られるため経過観察しながら改修時期について検討する。外部のコンクリートに経年劣化によるひび割れが多数見受けられることから、経過観察しながら補修時期について検討を行う。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工ことを同時期にまとめて実施する事でコストの縮み減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
女性職員の就業可能施設の拡大に向け必要な設備の整備を行う。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	北消防署保見出張所

1　施設の概要

所在地	篠原町	延床面積	354.09 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1982	354.09	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築３９年が経過しており、２０２０年には長寿命化修繕工事を実施している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	中消防署松平出張所

1　施設の概要

所在地	九久平町	延床面積	511.46 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S造	2005	511.46	2階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築１６年が経過している。屋上に水勾配不良と思われる水溜りがあり、保護シートの劣化を早める可能性があるので、対策を検討する必要がある。外壁塗装も劣化が進行しているので塗りかえを検討する。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	南消防署

1　施設の概要

所在地	和会町	延床面積	1,895.53 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1987	1325.32	2 階 (一部 5 階)	
訓練塔	S 造	2004	304.51	3 階	
車庫棟	S 造	2020	166.63	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築３４年が経過している。屋根、外壁の劣化が進行しており、天井に漏水跡が確認されていることから漏水調査をおこない、原因を特定するとともに対策を講じる必要がある。また、3 箇所点灯不良が確認された非常用照明の更新、グレーチングの浮きによる段差の改善等が必要である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減	
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	北消防署力石出張所

1　施設の概要

所在地	力石町	延床面積	504.94 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造 （一部Ｓ造）	1992	504.94	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２９年が経過しており、２０２０年には長寿命化修繕工事を実施している。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	消防本部・中消防署

1　施設の概要

所在地	長興寺	延床面積	9,005.27 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	SRC 造	1994	6,641.82	6 階	
訓練棟（主棟）	SRC 造	1994	781.28	8 階	
訓練棟（副棟）	SRC 造	1994	135.14	3 階	
屋内訓練場	S 造	1994	802.49	2 階	
車庫棟	S 造	1994	504.54	1 階	
北車庫棟	S 造	2000	140.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２７年が経過しているが、２０１３年には、本館屋根・外壁の延命化工事、及び空調設備の更新工事を実施している。訓練等（主塔・副塔）は、外壁の中性化がかなり進行しており鉄筋が露出しているため、早急に補修が必要である。屋上のドレーンのつまりによって排水不良となっており、定期的なメンテナンスを実施する。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

	□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
	特になし。
	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	特になし。
	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	中消防署逢妻分署

1　施設の概要

所在地	丸根町	延床面積	621.48 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S造	2002	621.48	2階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築１９年が経過しているが、全体的に比較的健全な状態である。車庫のコンクリート床前面にひび割れが見られるが、早急な対策の必要はないため、引き続き経過観察を行う。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
女性職員の就業可能施設の拡大に向け必要な設備の整備を行う。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	南消防署西分署

1　施設の概要

所在地	聖心町	延床面積	600.72 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1997	554.90	2 階	
倉庫	S 造	1997	45.82	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２１年が経過しており、5 箇所の非常用照明が不点灯であり、早急に更新が必要である。屋根、外壁もところどころ劣化してきており、経過観察により改修時期を判断していく。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 女性職員の就業可能施設の拡大に向け必要な設備の整備を行う。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	北消防署

1　施設の概要

所在地	四郷町	延床面積	2,038.61 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	Ｓ造	2003	1,716.01	３階	
訓練塔	Ｓ造	2003	175.00	４階	
車庫	Ｓ造	2009	124.20	１階	
倉庫	Ｓ造	2009	23.40	１階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築１８年が経過しており、全体的には比較的健全な状態を保っているが、シート防水に一部膨れが見られることから経過観察をしながら防水改修の時期についても検討していく必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減	
	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	北消防署藤岡小原分署

1　施設の概要

所在地	木瀬町	延床面積	763.75 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1996	763.75	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２５年を経過している。アスファルト防水、外壁の劣化が進行しており、建物自体を守る重要な部位であることから、改修時期について検討を行う必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
２００９年に空調設備は更新しているが、予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
女性職員の就業可能施設の拡大に向け必要な設備の整備を行う。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

11	施設名	足助消防署下山出張所

1　施設の概要

所在地	大沼町	延床面積	324.93 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	1995	324.93	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２６年が経過しているが、全体的に比較的健全な状態である。一部天井に漏水の跡が確認されていることから、漏水調査により原因を特定し必要な対策を講じる必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

12	施設名	南消防署末野原分署

1　施設の概要

所在地	鴛鴨町	延床面積	684.64 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	Ｓ造	2006	684.64	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築１５年が経過しており、４箇所の非常用照明が不点灯であり、早急に更新が必要である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 女性職員の就業可能施設の拡大に向け必要な設備の整備を行う。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

13	施設名	足助消防署

1　施設の概要

所在地	桑田和町	延床面積	1,674.04 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	RC 造	1981	965.88	2 階 (一部 5 階)	
車庫棟	S 造	2018	555.95	1 階	
車庫・倉庫棟	S 造	2018	137.26	1 階	
倉庫棟	S 造	2018	14.95	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本館は、築４０年が経過しているが、２０１８年に設備の更新を含む大規模な改修が行われており、健全な状態を保っている。本館以外は２０１８年に新築されて日も浅く、目立った劣化は確認されない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減	
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	足助消防署旭出張所

1　施設の概要

所在地	浅谷町	延床面積	438.76 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	Ｓ造	1998	431.50	1 階	
乾燥塔	Ｓ造	2016	7.26	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築２３年が経過しており、全体的に劣化が進みつつある。非常用照明に不点灯が確認されることから交換が必要である。また、外周ネットフェンスに傾きや穴あきが見られることから更新の必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
予防保全型の設備機器の更新が重なる時期であり、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減
	非常照明器具に点灯不良が確認されているため、ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

15	施設名	南消防署高岡出張所

1　施設の概要

所在地	高丘新町	延床面積	527.04 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	Ｓ造	2013	527.04	２階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築８年と日が浅く、全体的に比較的健全な状態である。屋外の鉄骨階段の手摺に発錆が見られることから下地処理、塗装によって進行を防ぐ必要がある。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。

☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保

予防保全型の設備機器の更新、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。

□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

特になし。

□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

特になし。

☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

16	施設名	足助消防署稲武出張所

1　施設の概要

所在地	稲武町	延床面積	592.13 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
本館	S 造	2013	592.13	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
本施設は、築８年と日も浅く、大規模な修繕等が行われた履歴はない。各部位の劣化状況も軽度であり、引き続き経過観察しながらの使用で問題ないと思われる。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保 予防保全型の設備機器の更新、関連する工事を同時期にまとめて実施することでコストの縮減を図る。また、配管類も同時期に更新することで施設の安全性向上を図る。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進 特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善 特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上やランニングコストの縮減

	ＬＥＤ化更新を実施することでランニングコストの縮減を図る。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。